

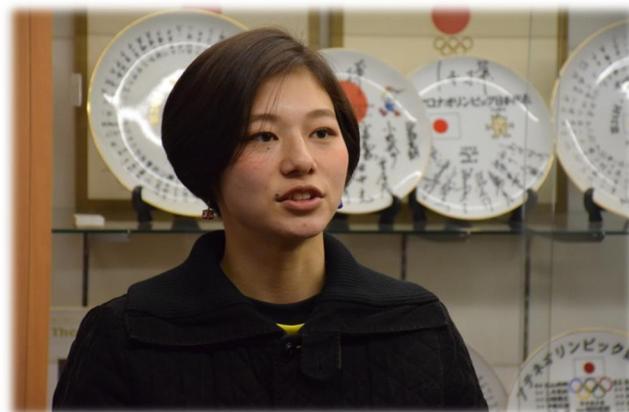
# 『生徒に親身になれる教師になりたい』

東京都教員採用試験合格

大内巴瑠子さん（東京都立国分寺高校出身）

## ①なぜ、この大学を選んだのか。

教職に力を入れている大学に行きたかったこと、高校生の時に来た教育実習生が日本大学文理学部体育学科の方だったこと、そしてなにより高校の保健体育科の先生に進められたことがきっかけとなり日本大学を選び、進学してきました。



## ②教師を目指したきっかけ。

教師を目指したきっかけは、もともと人に何かを教えることが好きで、自分が教えてあげた時にその人が「出来るようになる」ときにすごく喜びを感じたからです。教師は、子供の成長をすぐそばで支えることのできる、とても魅力的な職業だと思い、目指すようになりました。

## ③教師になるためにどんなことをしてきたか。

もともと子どもが苦手なこともあり、大学生の間に子どもとたくさん関わろうと思い、大学1年生の時にスイミングスクールのコーチ・サッカースクールのコーチのアルバイトを始めました。子どもと触れ合う機会や、実際に指導する機会を作ることによって、苦手であったことが楽しくなってきた、ますます教員になりたいと思える日々でした。あとは、日ごろより教員採用試験の勉強に励んできました。

## ④印象にある授業は。

3・4年次に受講した保健体育科授業実践演習という授業です。3年次では、教材理解の講義、指導案作成、模擬授業の実践を行い、4年次では、3年生が半期にかけて模擬授業を行い、受けていく中での学生の成長・変化についての研究や授業サポート、より深い教材理解をしていく授業です。2年間にわたり授業研究を行うことができ、ためになる授業でした。

### ⑤教員採用試験の対策について。

1次試験はひたすら勉強することです。わたしは自分流の勉強方法を決めていました。論作文は、何パターンか考えて書き、教職支援センターで添削していただきました。2次試験は面接がメインですが、いろいろなテーマについて自分なりに考えるだけでなく、友達とたくさん意見交換をしました。対策を十分にできたことで、教員採用試験に無事に合格できたと思います。



### ⑥どんな教師になりたい。

自分の良さ、自分らしさを忘れず、明るく元気で、生徒に親身になれる教師になりたい。また、いつも学び続ける姿勢を忘れず、教師の仕事に慣れても、勉強し続ける教師になります。

### ⑦後輩に一言。

教員採用試験に合格するために、勉強することはもちろん大切ですが、どんな教員になりたいか、どんな児童生徒を育てたいかという自分の考えをしっかりと持っていることがとても大切だと思います。私自身、ゴールはただ試験に合格することではないと、たくさんの先生に教わりました。また、勉強だけでなく、バイト、部活・サークル、アルバイト、遊び、、大学生活でのたくさんの経験を通して、人として成長することが教師になってからは大切なことなのではないかなと思います。大学生活すべてをやり切って、夢に向かって頑張ってください！